

特別デザイン機「下町ボブスレージェット」就航 ～モノづくり大田区の挑戦を応援します～

2017年10月5日

スカイマーク株式会社(以下「スカイマーク」)は、下町ボブスレーネットワークプロジェクト推進委員会(以下「下町PJ」)とのコラボレーション企画として特別デザイン機「下町ボブスレージェット」を運航いたします。

スカイマークは現在、羽田空港を中心に10都市19路線に就航しております。その羽田空港のある東京都大田区には3,000以上の工場があり、国内随一のモノづくり企業の集積を誇ります。その高い技術力は日本の製造業を支えています。

欧米の強豪国では企業や国が総力を挙げてボブスレーのソリを開発するなか、下町PJはモノづくりの町である大田区の町工場が中心となって、世界へ挑戦する日本製のボブスレーを開発しています。スカイマークは、下町PJの世界への挑戦やモノづくりの力と心意気の発信を応援し、また、大田区の産業振興の一助となるよう、特別デザイン機「下町ボブスレージェット」を運航して参ります。

➤ 特別デザイン機「下町ボブスレージェット」概要

- 運航機材/機体番号: ボーイング 737-800 型機/JA73NT 号機
- 就航予定期間: 2017年10月6日～2018年12月頃を予定
- 就航路線: 全路線
- デザインコンセプト: 和のテイストをベースに大田区の区の花である「ウメ」をあしらいました。また、流れるデザインでボブスレーの疾走感を表現し、機体上部には「東京 大田区から世界へ」「羽田空港から全国へ」と大きくスローガンを掲げました。

【「下町ボブスレージェット」機体デザインイメージ図】



【デザイン拡大図】

■機体前方左ドア付近



■機体左側後方部



■機体右側後方部



■機体前方各社スポンサーロゴ



【オリジナルヘッドレストカバー】

「下町ボブスレージェット」の座席には、オリジナルデザインのヘッドレストカバーを設置いたします。



➤ 下町ボブスレーネットワークプロジェクト推進委員会について

下町ボブスレーは、大田区の中小製造業が共同でボブスレー競技のソリを開発・製作するプロジェクトとして 2011 年末にスタート。2016 年 1 月にソリの採用を決めたジャマイカボブスレーチームと共に、2018 年 2 月の韓国・ピョンチャン五輪出場を目指しています。活動の主体となる任意団体・下町ボブスレーネットワークプロジェクト推進委員会は、大田区の中小製造業を中心に元ボブスレー選手、レーシングマシンメーカー、大学教授などで構成しています。



以上

【お問い合わせ】

スカイマーク 広報課 TEL :03-5708-8208